**学校向け調査票**

**Q01.学校経営に「学校安全」を明確に位置付けていますか。**

01．位置付けている

02．位置付けていない

**Q02.学校評価において、「学校安全」に関する項目を扱っていますか。**

01．扱っている

02．扱っていない

**Q03.「安全委員会」や「安全部」などの教職員等による学校安全を担う校内組織や、学校安全に関する計画や取組等について確認する組織・体制は整備されていますか。**

**※学校運営協議会等の場で定期的に議事として取り扱っている場合等は「01.整備されている」を選んでください。**

01．整備されている

02．整備されていない

**（Q03で「01」を選んだ場合）**

**Q03-1.学校安全を担う校内組織等について、当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）**

01.複数の教員を担当として割り当てている

02.生活安全・交通安全・災害安全等といった、領域ごとで体制を整備している

03.学校安全を担う校内組織等（※もっぱら学校安全のみを取り扱わない場合を含む）の活動に、保護者や地域の方の意見等を取り入れる仕組みがある

04.学校安全を担う校内組織等（※もっぱら学校安全のみを取り扱わない場合を含む）の活動に、学校安全や関連分野の専門家の意見等を取り入れる仕組みがある

05.いずれも当てはまらない

**（Q03-1で「03」を選んだ場合）**

**Q3-2.保護者や地域の方の意見等をどのように取り入れていますか。（複数回答可）**

01.学校運営協議会において学校安全を取り扱っている

02.学校運営協議会以外で地域の方が参画する会議等において学校安全を取り扱っている

03.保護者や地域の方へアンケートを行う等して意見を聞いている

04.その他（　）

**（Q03-1で「04」を選んだ場合）**

**Q03-3.学校安全や関連分野の専門家として、具体的にどのような方が参画しているか回答ください。（複数回答可）**

01.大学教員

02.その他（　　　）

**Q04.「学校安全」に関する活動の評価や振り返りについて、当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）**

01.データ等（例：事故発生件数、避難訓練の実施状況、安全教育の実施状況等）に基づく評価・振り返りを実施している

02.具体的な事故・ヒヤリハットに基づく評価・振り返りを実施している

03.保護者や地域の方が関わっている（意見を聞く取組を含む）

04.学校安全や関係分野の専門家が関わっている（意見を聞く取組を含む）

05.児童生徒等が関わっている（意見を聞く取組を含む）

06.評価・振り返りの結果を公表している（保護者等向けのみの公表も含む）

07.評価・振り返りの結果をその後の取組に活かしている（例：学校安全計画の改定、避難訓練の実施内容の改善、安全指導の改善等）

**（Q04で「04」を選んだ場合）**

**Q04-1.学校安全や関連分野の専門家として、具体的にどのような方が参画しているか回答ください。（複数回答可）**

1. 大学教員
2. 消防署員・消防団員
3. 警察署員
4. 地域の自主防災組織員

05.その他（　　　）

**Q05.学校保健安全法第27条により各学校に策定が義務付けられている「学校安全計画」を策定していますか。**

【参考】学校保健安全法
第27条　学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

01．策定している

02．策定していない

**（Q05で「02」を選んだ場合）**

**Q05-1.「策定していない」理由を具体的に回答ください。**

**（Q05で「02」を選んだ場合）**

**Q05-2.今後の策定の予定について回答ください。**

01.令和6年度末までに策定予定

02.令和7年度以降に策定予定

03.その他（　　）

**（Q05で「01」を選んだ場合）**

**Q05-3.学校安全計画や学校安全に係る取組について、次の方に周知していますか。（複数回答可）**

01.保護者

02.地域住民（保護者を除く）

03.関係機関

04.その他（　）

05.周知していない

**（Q05で「01」を選んだ場合）**

**Q05-4.学校安全計画の評価や振り返りを行っていますか。**

01.行っている

02.行っていない

**（Q05-4で「01」を選んだ場合）**

**Q05-5.学校安全計画の策定・評価・見直し等にあたって、どのような方の意見を参考にしていますか。（複数回答可）**

01.児童生徒等

02.学校安全担当以外の教職員

03.保護者

04.地域住民（保護者を除く）

05.関係機関（消防や警察等）

06.有識者（大学教員等）

07.学校設置者（教育委員会等）

08.その他

09.特に参考にしている意見はない

**（Q05で「01」を選んだ場合）**

**Q05-6.学校安全計画には、学校施設及び設備等の安全点検について盛り込んでいますか。**

01.盛り込んでいる

02.盛り込んでいない

**（Q05で「01」を選んだ場合）**

**Q05-7.学校安全計画に、次の領域の安全に関する指導について盛り込んでいますか。（複数回答可）**

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04.インターネットの適切な利用・サイバーセキュリティ（SNSについてを含む）

05.性犯罪・性暴力防止のための教育

06.いずれも盛り込んでいない

**（Q05で「01」を選んだ場合）**

**Q05-8.学校安全計画に、次の領域の教職員の研修について盛り込んでいますか。（複数回答可）**

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04. インターネットの適切な利用・サイバーセキュリティ（SNSについてを含む）

05.性犯罪・性暴力防止のための教育

06.いずれも盛り込んでいない

**Q06.学校安全推進の中核となる教員（管理職以外）は誰が担っていますか。（複数回答可）**

※「中核となる教員」とは、ここでは、校長の監督を受け、学校安全に関する事項をつかさどり、当該事項について連絡調整、指導及び助言にあたる教員という意味でお考えください。このような教員が担っている役職を選択してください。（複数回答可）例えば、学校安全推進の中核となる教員が「主幹教諭」「安全主任」を兼ねている場合には、両方を選択してください。

01.安全主任や防災主任等の学校安全を担っている主任・主事

02.主幹教諭

03.教務主任

04.生徒指導主事

05.保健主事

06.養護教諭

07.その他の教諭等

08.教員以外の職員（事務職員・用務員・技師等）

09.その他（　　　）

10.特に位置付けていない

**Q07.学校安全を意識化する定期的な機会を設けていますか。最も近いものを選んでください。（例：学校として独自に「学校安全の日」を設ける等。教職員のみを対象としているものも含みます）**

01. 週に1回程度設定している

02.月に１、２回程度設定している

03.学期に１、２回程度設定している

04.年に1、２回程度設定している

05.その他（　　）

06.設定していない

**Q08.学校保健安全法施行規則第28条に基づく学校施設及び設備の安全点検をどの程度実施していますか。**

【参考】学校保健安全法施行規則
第28条　法第27条の安全点検は、他の法令に基づくもののほか、毎学期１回以上、児童生徒等が通常使用する施設及び設備の異常の有無について系統的に行わなければならない。
01.月に1回以上

02.学期に1回以上～月に1回未満

03.年に1回以上～学期に1回未満

04.実施していない

**（Q08で「01」「02」「03」を選んだ場合）**

**Q08-1.安全点検にはどなたが参画していますか。（複数回答可）**

01.学校の教職員

02.児童生徒等

03.保護者

04.地域住民（保護者を除く）

05.設置者（教育委員会等）

06.有識者や専門業者

07.その他（　　）

**Q09.** **児童生徒等が窓際の足掛かりとなるような設置物等に乗り、転落しないよう対策を取っていますか。**

**※対策の例：足掛かりとなる設置物等の撤去、窓の開閉制限、危険箇所の立入禁止、安全指導の徹底など**（参考　<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/anzentenken/data/anzentenken-all.pdf#page=40> ）

01.必要な対策をとっている（危険箇所が無い場合もこちらを選択ください）

02.未対策の箇所等がある

**Q10.児童生徒等が下敷きになる事故等を防ぐため、固定されていない積み重ねられた棚への対策を取っていますか。**

**※対策の例：連結部分を壁や床等に固定する、積み重ねられた棚を降ろす、立入禁止措置、安全指導の徹底など**（参考　<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/anzentenken/data/anzentenken-all.pdf#page=43> ）

01.必要な対策をとっている（危険箇所がない場合もこちらを選択ください）

02.未対策の箇所等がある

**Q11.通学路・通園路を設定していますか。**

01.設定している

02.設定していない

**（Q11で「01」を選んだ場合）**

**Q11-1.通学路・通園路の安全点検は、どの領域の観点で実施していますか。（複数回答可）**

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04.安全点検を実施していない

**（Q11で「01」を選んだ場合）**

**Q11-2.通学路・通園路の安全点検は、どのような方が関わって実施していますか。（複数回答可）**

01.児童生徒等

02.保護者や地域住民

03.設置者（教育委員会等）

04.警察署員

05.道路管理者

06.その他の有識者や専門業者

07.学校の教職員

08.その他（　　）

09.実施していない

**Q12.登下校園中の安全確保のための恒常的な手段として、どのような対応をとっていますか。（複数回答可）※期間を限って定期的に実施している場合など、毎日ではない場合も含みます。**

01.児童生徒等への安全指導

02.集団登下校（登校のみ（片方のみ集団）といった場合も選択してください）

03.保護者や地域の人々、ボランティア等による同伴や見守り

04.スクールバスによる送迎

05.ICTの導入による登下校管理（ICタグや見守りシステム）

06.その他

07.安全確保のための方策はとっていない

**（小学校、義務教育学校のみの質問）**

**Q13.スクールバスを利用している児童数を回答してください。**

　　※遠距離通学支援目的でスクールバスを運用している場合についてもお答えください。

　　※義務教育学校は小学部のみお答えください。

01.スクールバスを導入していない

02.（　　　　人）

**（Q13で「02」を回答した場合）**

**Q13-1.スクールバス利用者について、通学距離の最低基準の状況を回答してください。**

01.1km以上2km未満から対象としている

02.2km以上4km未満から対象としている

03.3km以上4km未満から対象としている

04.4km以上から対象としている

05.その他（　　）

06.通学距離による最低基準を設けていない

**（Q13で「02」を回答した場合）**

**Q13-2.スクールバスの運営に当たり、受益者（保護者等）負担はありますか。**

01.ある

02.ない

**（Q13で「02」を回答した場合）**

**Q13-2.スクールバスを運行している時間帯を回答してください。（複数回答可）**

01.登校時

02.通常下校時

03.放課後活動後の下校時

04.その他（　　　）

**Q14.スクールゾーン（特に子供の交通安全の確保を図る特定地域）を設定していますか。**

スクールゾーンとは、学校の周囲における交通安全対策につなげるため、幼稚園及び小学校等を中心に周囲500メートルを範囲として設定した特定地域のこと。
「ゾーン30」が設定されている場合は、スクールゾーンの設定に含まれる。

01.設定している

02.設定していない

**（Q14で「01」を選んだ場合）**

**Q14-1.スクールゾーンにおいてどのような安全対策を実施していますか（複数回答可）**

01.スクールゾーンの明示（標識・路面表示の設置など）

02.交通規制（速度制限、車両進入規制など）

03.道路環境の物理的な改善（ハンプ、狭さくの設置など）

04.その他（　　）

**（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校のみの質問）**

**Q15.児童生徒に通学路安全マップを作成させていますか。その場合は学校安全3領域のうち、どの観点で作成させていますか。（複数回答可）**

※特別支援学校で幼稚部のみの設置の場合は​回答対象外につき、「特別支援学校で幼稚部のみの設置」を選択ください。

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04.通学路安全マップを作成していない

05.特別支援学校で幼稚部のみの設置

**Q16.次のうちどの安全教育等を実施していますか。（複数回答可）**

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04.現代的課題への対応（弾道ミサイル、犯罪予告、テロ）

05.インターネットの適切な利用・サイバーセキュリティ（SNSについてを含む）

06.性犯罪・性暴力防止のための教育

07.その他（　　）

08.いずれも実施していない

**（Q16で「02」を選んだ場合）**

**Q16-1.地域のどのような災害等リスクに応じた安全教育を実施していますか。（複数回答可）**

※訓練等を通じて学んでいる場合も含みます。

01.火災

02.地震

03.津波

04.風水害

05.雪害

06.土砂災害

07.火山災害

08.原子力事故

09.弾道ミサイル発射（Jアラートによる情報伝達への対応）

10.その他（　　）

11.いずれも実施していない

（**Q16で「06」を選んだ場合のみ**）

**Q16-2.性犯罪・性暴力防止のための教育をどのように行っていますか。（複数回答可）**

01.文部科学省作成の「生命の安全教育教材」を活用している（一部でも可）

02.文部科学省作成の教材以外の教材を活用している

03.保健等の教科書を活用している

04.外部の関係団体や専門家等の協力を得て行っている

05.その他（　　）

**（Q16で「08」以外を選んだ場合）**

**Q16-3.安全教育を進めるにあたってデジタル技術を活用していますか。（複数回答可）**

01.児童生徒等のタブレット端末等を活用している

02.VR・ARを活用している

03.従来紙で作成・共有していた資料等をデジタル化した

04.その他（　　　　）

05.活用していない

**Q17.重大事故を防ぐために、校内で起きたヒヤリハット事例を共有していますか。（複数回答可）**

01.教職員間で共有している

02.児童生徒等に共有している

03.その他（　　）

04.共有していない

**Q18.学校安全に関する教職員対象の校内研修を行っていますか。（複数回答可）**

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04.インターネットの適切な利用・サイバーセキュリティ（SNSについてを含む）

05.性犯罪・性暴力防止のための教育

06.その他（　　）

07.いずれも実施していない

**Q19.だれが学校安全に関する校外研修を受講していますか。（複数回答可）**

※例えば、受講している教員が「主幹教諭」「安全主任」を兼ねている場合には、両方を選択してください。

01.校長

02.教頭（副校長）

03.学校安全の中核となる教員

04.主幹教諭

05.教務主任

06.生徒指導主事

07.保健主事

08.養護教諭

09.その他の教諭

10.教員以外の学校職員（事務職員・用務員・技師等）

11.その他（　　）

12.だれも受講していない

**Q20.文部科学省が公開している学校安全の研修に活用できる「教職員のための学校安全e-ラーニング」や「職員だより」を研修等で活用していますか。**

**教職員のための学校安全e-ラーニング　https://anzenkyouiku.mext.go.jp/learning/index.html**

**学校安全今月のニュース「職員だより」https://anzenkyouiku.mext.go.jp/news/index.html**

01.全ての教職員が視聴するなどの活用をしている

02.一部の教職員が視聴するなどの活用をしている

03.活用していない

**Q21.学校保健安全法第29条により作成することになっている危険等発生時対処要領（以下：危機管理マニュアル）について、次のことについて記載していますか（複数回答可）**

【参考】学校保健安全法
第29条　学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の実情に応じて、危険発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領（次項において「危険等発生時対処要領」という。）を作成するものとする。

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04.インターネットの適切な利用・サイバーセキュリティ（SNSについてを含む）

05.その他（　　　）

06.危機管理マニュアルを作成していない

**（Q21で「06」以外を選んだ場合）**

**Q21-1.地域や学校内の事故等のリスクなどの学校を取り巻く環境を踏まえて危機管理マニュアルの見直しを行っていますか**

01.見直しを行っている（見直した結果、改訂等を行っていない場合もこちらを選んでください）

02.見直しを行なっていない

**（Q21-1で「01」を選んだ場合）**

**Q21-2.危機管理マニュアルの見直しにどのような方が関わっていますか。（複数回答可）**

01.児童生徒等

02.学校安全担当以外の教職員（※意見交換の機会等を設けている場合を含みます）

02.保護者

03.地域住民（保護者を除く）

04.関係機関

05.有識者

06.学校設置者（教育委員会等）

07.その他（　　　）

**（Q21で「06」以外を選んだ場合）**

**Q26-2.危機管理マニュアルをすべての教職員に対してその内容を周知し、共通理解を図っていますか。**

01.図っている

02.図っていない

**（Q21で「06」以外を選んだ場合）**

**Q21-3.危機管理マニュアルの内容を保護者に周知していますか。（危機管理マニュアルの一部のみ周知・説明等している場合は、周知しているとお考えください）**

01.周知している

02.周知していない

**Q22.事故や災害発生後の教育活動の継続に関する内容（BCP)について、危機管理マニュアルに記載していますか。**

【参考】BCPとは
「事業継続計画」の略で、自然災害、大火災などの危機的状況下に置かれた場合でも、損害を最小限に留めつつ、重要な業務（学校においては教育活動）の継続あるいは早期復旧を可能とするための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

01.記載している

02.記載していない

**Q23.消防法に基づき消防計画を作成していますか。**

※消防法第８条　学校、（略）の管理について権原を有する者は、政令で定める資格を有する者のうちから防火管理者を定め、政令で定めるところにより、当該防火対象物について消防計画の作成、当該消防計画に基づく消火、通報及び避難の訓練の実施、消防の用に供する設備、消防用水又は消火活動上必要な施設の点検及び整備、火気の使用又は取扱いに関する監督、避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理並びに収容人員の管理その他防火管理上必要な業務を行わせなければならない。

01.作成している

02.作成していない

**（Q23で「01」を選んだ場合）**

**Q23-1.消防計画に基づく訓練を実施していますか。**

01.実施している

02.実施していない

**Q24.危機管理マニュアルに地震被害を想定した内容を記載していますか。**

01.記載している

02.記載していない

**Q25.地震被害を想定した避難訓練を実施していますか。**

01.実施している

02.実施していない

**Q26.貴校の敷地は、津波浸水想定区域内に所在していますか。**

【参考】「津波浸水想定区域に所在する学校」とは
「津波防災地域づくりに関する法律」第8条第4項に基づき、都道府県知事が設定し公表した津波浸水想定において、浸水する可能性が示されている学校。（現時点で同法に基づく津波可能性が示されている学校）
※本設問は津波を起因として浸水する場合が対象であり、洪水など一般的な河川の氾濫を起因とした浸水が想定される場合を含みません。

01.所在している

02.所在していない

**（Q26で「01」の場合）**

**Q26-1.危機管理マニュアルに津波被害を想定した内容を記載していますか。**

01.記載している

02.記載していない

**（Q26で「01」の場合）**

**Q26-2.津波被害を想定した避難訓練を実施していますか。**

01.実施している

02.実施していない

**Q27.貴校の敷地は、河川氾濫による洪水、大雨、高潮の浸水想定区域内に所在していますか。**

【参考】「大雨や洪水等の浸水想定区域内に所在する学校」とは
水防法第14条に基づき、都道府県知事が設定した浸水想定において、浸水する可能性が示されている学校。（現時点で設定されていない場合は市町村または都道府県が作成する浸水ハザードマップにおいて、浸水する可能性が示されている学校）
※本設問は洪水や大雨、高潮を起因として浸水する場合が対象であり、津波を起因とした浸水が想定される場合は含みません。

01.所在している

02.所在していない

**（Q27で「01」の場合）**

**Q27-1危機管理マニュアルに浸水被害を想定した内容を記載していますか。**

01.記載している

02.記載していない

**（Q27で「01」の場合）**

**Q27-2浸水被害を想定した避難訓練を実施していますか。**

01.実施している

02.実施していない

**Q28.貴校の敷地は、土砂災害想定区域内に所在していますか。**

【参考】「土砂災害想定区域内に所在する学校」とは
土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第7条に基づき、都道府県知事が設定した土砂災害想定において、土砂崩れの可能性が示されている学校。（現時点で設定されていない場合は市町村または都道府県が作成する土砂災害ハザードマップにおいて、土砂災害の可能性が示されている学校）

01.所在している

02.所在していない

**(Q28で「01」の場合)**

**Q28-1危機管理マニュアルに土砂災害を想定した内容を記載していますか。**

01.記載している

02.記載していない

**（Q28で「01」の場合）**

**Q28-2土砂災害を想定した避難訓練を実施していますか。**

01.実施している

02.実施していない

**Q29.貴校の敷地は、火山災害警戒地域に所在していますか。**

01.所在している

02.所在していない

**（Q29で「01」の場合）**

**Q29-1.危機管理マニュアルに火山災害を想定した内容を記載していますか。**

01.記載している

02.記載していない

**（Q29で「01」の場合）**

**Q29-2.火山災害を想定した避難訓練を実施していますか。**

01.実施している

02.実施していない

**Q30.貴校の敷地は、PAZ圏内もしくはUPZ圏内に所在していますか。**

【参考】PAZ・UPZとは
国際原子力機関（IAEA)が概念を示し、原子力発電所で事故が発生し緊急事態となった場合に、放射性物質が放出される前の段階から予防的避難等を開始するPAZと、屋内退避などの防護措置を行うUPZを設けることになっており、原子力施設からおおむね半径５kmがPAZ、半径５～30kmUPZの目安。

01.所在している

02.所在していない

**（Q30で「01」の場合）**

**Q30-1.危機管理マニュアルに原子力災害被害を想定した内容を記載していますか。**

01.記載している

02.記載していない

**（Q30で「01」の場合）**

**Q30-2.原子力災害被害を想定した避難訓練を実施していますか。**

01.実施している

02.実施していない

**Q31.どのような関係者との協働による防災教育・避難訓練を実施していますか。（複数回答可）**

01.保護者

02.地域住民（自治会・自主防災組織を含む、保護者は除く）

03.有識者（大学の教員等）

04.警察

05.消防署

06.消防団

07.自治体防災部局

08.その他（　　）

09.協働による実施はしていない

**Q32.どのような関係者との協働による不審者の学校侵入を想定した防犯訓練等を実施していますか。（複数回答可）**

01.警察

02.保護者

03.地域住民（見守りボランティア等）

04.有識者（大学の教員等）

05.関係機関（警備会社等を含む）

06.学校のみで実施している

07.不審者侵入を想定した防犯訓練を実施していない

**Q33.どのような領域で地域学校安全委員会やコミュニティ・スクール等の仕組みを活用した学校安全に取り組んでいますか（複数回答可）**

01.生活安全（防犯含む）

02.災害安全

03.交通安全

04.学校の安全点検

05.現代的課題への対応（弾道ミサイル、犯罪予告、テロ）

06.インターネットの適切な利用・サイバーセキュリティ（SNSについてを含む）

07.性犯罪・性暴力防止のための教育

08.その他（　　）

09.該当する取組はない

**Q34.学校敷地内や校舎内への不審者侵入防止のための対策をどのような手段で講じていますか（複数回答可）**

※1：３段階のチェック体制…①校門（施錠管理、防犯カメラ等）、②校門から校舎の入り口まで（通行場所の指定・誘導、死角の排除等）、③校舎への入り口（来訪者の確認、名札の配付等）の３段階で対策を講ずる体制です。

※2：学校の構造の事情等により３段階のチェック体制が物理的に不可能な場合は、でき得る最大のチェック体制を設けている場合に選択してください。

参考リンク：<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/fushinsyaboushi/index.html>

01.３段階のチェック体制について危機管理マニュアルに記載し実施している（※1、2）

02.防犯カメラ

03.玄関のインターフォン

04.警備員の配置

05.警備会社との連絡システム

06.警察との連絡システム

07.校内緊急通話システム（内線電話や無線、職員用端末を含む）

08.さすまた

09.笛

10.催涙スプレー

11.防犯ネット

12.その他（　　）

13.該当する取組はない

**Q35.「学校事故対応に関する指針」に基づく調査対象の事故について、基本調査を実施していますか。**

【参考】基本調査の調査対象（原則）
・学校管理下で発生した死亡事故（登下校中を含む）
・死亡以外の事故については、治療に要する期間が30日以上の負傷や疾病を伴う場合等重篤な事故のうち、被害児童生徒等の保護者の意向も踏まえ、学校設置者が必要と判断した事故

01.すべての調査対象の事故について基本調査を実施している

02.調査対象の事故のうち、基本調査を実施していないものがある

03.調査対象となる事故は発生していない

**（Q35で「02」の場合）**

**Q35-1.「02.調査対象の事故のうち、基本調査を実施していないものがある」理由をお答えください。**

**Q36.災害発生時等に児童生徒等が学校に待機することを想定して、どのような物品等を備蓄していますか。（複数回答可）**

市区町村の防災部局が管理している備品であっても、災害によって児童生徒等が待機する際に利用が可能な物品等も含めてお答えください

01.飲料水・食料

02.救急用品・医薬品

03.ライト・ろうそく・投光器

04.衛星電話、災害時用公衆電話等の通信手段

05.防災ラジオ

06.発電機

07.ヘルメット・防災頭巾

08.毛布・寝袋・段ボールベッド

09.携帯・簡易トイレ

10.その他（　　）

11.特段の備蓄をしていない

**Q37.貴校は、指定避難所に指定されていますか。**

【参考】指定避難所とは
災害対策基本法第49条の７に規定している、各市町村長が指定する「指定避難所」（避難生活を送る避難所）のこと

01.指定されている

02.指定されていない

**（Q37で「01」の場合）**

**Q37-1.地域住民等の避難受け入れ時の対応について、市区町村の防災担当部局や地域の自主防災組織等とあらかじめ協議していますか。**

01.協議している

02.協議していない

**（特別支援学校のみ）**

**Q38.貴校は、指定福祉避難所に指定されていますか？**

【参考】指定福祉避難所とは
主として高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（要配慮者）を滞在させることを想定した避難所。福祉避難所の指定が促進されるよう、令和３年５月１０日に災害対策基本法施行規則が改正され、福祉避難所についてあらかじめ受入対象者を特定し、本人とその家族のみが避難する施設であることを公示する制度が創設された。

01.指定されている

02.指定されていない

**Q39.災害時における児童生徒等の引渡し方法や待機方法について、あらかじめ保護者との間で手順やルールを決めていますか。**

01.決めている

02.決めていない

**Q40.災害時の緊急地震速報を学校内でどのように受信していますか。（複数回答可）**

01.緊急地震速報受信システム

02.防災行政無線

03.防災ラジオ（臨時災害放送局※災害FM）

04.テレビ

05.携帯電話・スマートフォン

06.その他（　）

**Q41.災害や弾道ミサイル、犯罪の危険等が発生した場合の休校等の判断基準について、設置者と事前に取り決めていますか。**

01.取り決めている

02.取り決めていない

**Q42.次のような実践的な避難（防災）訓練等を実施していますか。（複数回答可）**

01.休み時間や給食（昼食）時間、清掃中の発災を想定した避難訓練

02.予告なしの避難訓練

03.管理職の不在時を想定した避難訓練

04.登下校時の避難訓練

05.複合災害（例：地震から火災、大雨の中の地震）を想定した避難訓練

06.停電を想定した避難訓練

07.余震を想定した避難訓練

08.保護者や地域住民、関係機関等が参加した避難訓練

09.不審者対応訓練

10.引渡し訓練

11.その他の訓練

12.いずれも実施していない

**Q43.教育活動中の子供の重大事故を想定した教職員向けの訓練等を実施していますか。（複数回答可）**

01.児童生徒等が突然倒れた際等の応急手当に関する訓練（窒息事故への対応、心肺蘇生、AEDの使用等）

02.エピペン®の使用を含む食物アレルギー・アナフィラキシーショックに関する訓練

03.消防等への通報訓練

04.被害児童生徒等の保護者への対応に関する訓練

05.その他（　　　　　）

06.特に実施していない

**（Q43で「06」以外の場合）**

**Q43-1.訓練等の実施に当たって該当するものを選んでください。（複数回答可）**

01.消防等から講師を招いて実施した

02.実習を含む形式で実施した

03.その他実施に当たっての工夫（　　　）

04.特に該当するものはない

**Q44.自動体外式除細動器（以下AED）を設置していますか。**

01.設置している

02.設置していない

**（Q44で「01」の場合）**

**Q44-1.AEDを日常的に点検したり、消耗品の交換時期を確認したりするなど、いつでも使える状態にしていますか。**

01.している

02.していない

**（Q44で「01」の場合）**

**Q44-2.児童生徒等を対象に学校におけるAEDの設置場所を共有していますか。**

01.共有している

02.共有していない

**（Q44で「01」の場合）**

**Q44-3.教職員を対象に学校におけるAEDの設置場所を共有していますか。**

01.共有している

02.共有していない

**Q45.児童生徒等を対象としたAEDの使用を含む応急手当の実習を行っていますか。**

01.行っている

02.行っていない

**Q46.熱中症事故についてどのような対策を講じていますか。（複数回答可）**

01.熱中症の予防・対応等に係るガイドライン等の全職員への周知（危機管理マニュアルに熱中症事故対応に関する記載があり、それを全職員に周知して運用している場合も含む ）

02.暑さ指数（WBGT値）等を参考にした活動実施の判断

03.学校行事や授業内容の実施時期の検討

04.夏季休業日の延長・臨時休業日の検討

05.児童生徒等への指導の徹底（こまめな水分補給や休憩の推奨を含む）

06.エアコンや扇風機の設置（既に設置している場合も含む）

07.熱中症発生時に備えた教職員向けの研修・訓練

08.その他（　　　）

09.何も対策を講じていない

**Q47.弾道ミサイル発射等の国民保護に関する事案（Jアラートの発信）に対して、どのような準備等を行っていますか。（複数回答可）**

01.学校安全計画や危機管理マニュアルに対応等について記載している

02.避難訓練を実施している

03.教職員向けの対応研修を実施している

04.その他（　）

05.何も対応を行っていない

**Q48.送迎用バスにおける安全管理（特に子供の置き去り防止）について該当するものを選択してください。（複数回答可）**

01.チェックシート等を用いて、乗車する子供の数と降車する子供の数を確実に確認する仕組みとしている

02.安全管理体制について校長（園長）等が定期的に確認している

03.車内に置き去り防止を支援する安全装置を設置し補完的に活用している

04.子供たちに、万が一周囲に大人がいない状況になった場合等の対応を予め伝えている（クラクションをならす等）

05.その他（　　）

06.送迎用バスを運行していない

07.特に該当するものはない（06を選んだ場合を除く）

**Q49.学校安全に関して国等において作成してほしい資料等があれば回答ください。（自由記述）**